

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
機能看護学特論Ⅰ		2単位30時間(15コマ) 講義科目	博士前期1年次 前期開講	☐ ・不可 (下記7参照)
科目責任者	佐藤 愛			
担 当 者	佐藤 愛、角濱 春美、福井 幸子、村上 眞須美、新改 法子			
1. 科目のねらい・目標				
(ねらい) 様々な対象のニーズに対応する看護の特質および看護の専門機能に対する理解を深め、その関連理論や概念について探求する。 (目標) 1) 専門分野における看護の特質および機能について理解する。 2) 専門分野における関連理論や概念について理解する。				
2. 授業計画・内容				
＊この科目は選択した科目担当者が担当します。 【佐藤 愛】 母性看護学の基盤となる諸理論・諸概念についての理解を深めるとともに、実践・研究への適用について探究する。 【角濱 春美】 看護実践・看護技術の根拠となる理論の生成と研究での実証の方法について理解するために、理論と実践との関係について論文をもとにクリティークを行う。更に、看護実践の基盤となりうる研究とは何かを考察するために、研究のデザインを理解するとともに、批判的吟味をし、看護技術の生成や実証のための研究方法について理解を深める。 【福井 幸子】 臨床で発生する問題を多角的に検討し、国内外のガイドラインにある理論的根拠等から問題解決方法を探求する。 【村上 眞須美】 質の高い看護ケアを提供することをめざし、看護職が所属するヘルスケア関連組織について、組織論・組織行動論を基盤に、現状と照らし合わせながら看護管理の在り方を検討する。 【新改 法子】 感染症を取り巻く状況や国内外における感染対策について理解を深め、科学的根拠に基づいた感染防止活動を展開していくための手法や看護技術を探求する。				
3. 教科書、参考書				
各教員がテキストを指定するか、資料を配布する。				
4. 成績評価方法				
レポートで評価する。				
5. 受講要件				
なし				
6. 社会人学生に対する配慮				
講義の日時は担当教員と相談して決めることができるように配慮する。				
7. その他				
事前に担当教員と連絡を取り、課題等の指示を受けること。 また、オンラインおよびオンデマンドによる開講についても担当教員に事前相談すること。				